

---

# 公益社団法人 大阪府工業協会

## 2019年度 事業計画書

自) 2019年4月1日 ~ 至) 2020年3月31日

---

昨今のわが国経済は、比較的堅調な内需に支えられ、緩やかながら景気回復基調が続いている。一方で、中国など海外の一部に減速感が生じ始めていることや、米中の貿易摩擦、英国の EU 離脱、消費税の増税など不安要素もあり、決して楽観できる状況にはない。また、国内においては、少子高齢化を背景にした構造的な人手不足が一層厳しさを増しており、人材の確保・育成はこれまで以上に重要な経営課題となっている。

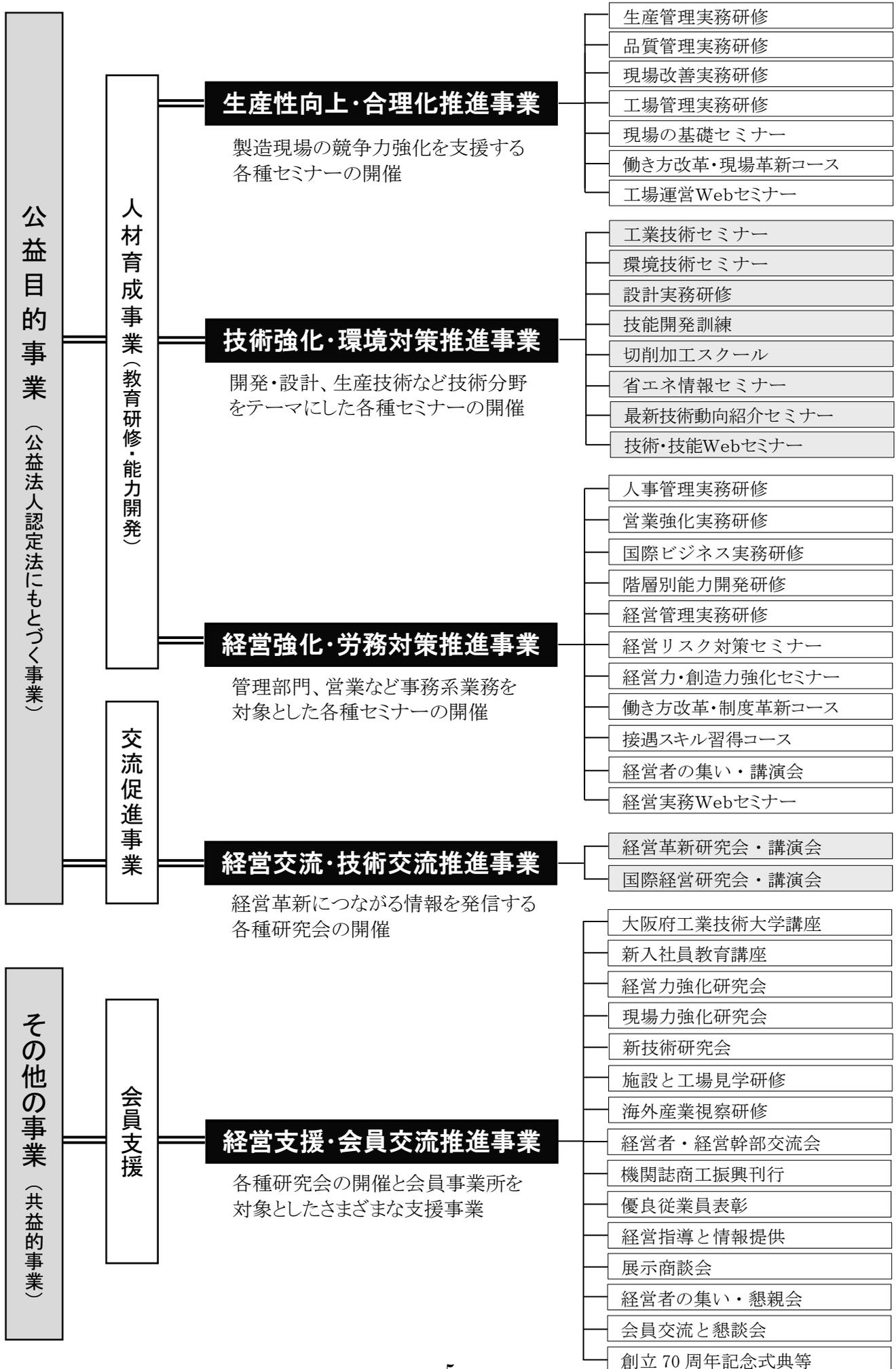
こうしたなか、当協会では、従来からの基幹事業である「人づくり」につながる研修事業をさらに活発に行い、製造業の基盤強化および新時代への対応を後押しする。もう一つの柱である研究会活動・企業間交流についても、将来を見据え、時代の変化に求められる情報をタイムリーに提供することで、さまざまなニーズに応えていきたい。

研修事業については、協会の強みである製造現場に密着したテーマの研修に注力し、生産管理、現場改善、品質向上、技術力強化といった分野で内容の精査とテーマの掘り起こしを進める。また、新たに研修動画の配信事業を開始し、多忙な業務の合間にも Web を通じて学習できる環境を整備する。

また、研究会活動は参加者の多様なニーズに応え、バリエーションを増やしていく。今年度は「生産技術」「生産支援ロボットの活用」「技能伝承」「物流効率化」の4つのテーマで新たに研究会を立ちあげるとともに、昨年からスタートした「AI(人工知能)研究会」「EV(電気自動車)研究会」「簡易自動化研究会」は、参加者の意見を参考に内容のさらなる充実を図り 2 期目を開催する。

本年、協会は創立 70 周年の大きな節目を迎え、11 月には記念式典を挙げる。この機に設立の趣旨をあらためて思い起こすとともに、今後の協会のさらなる発展を期したい。激しく変化する社会・経済情勢のなかで、企業、とくにものづくり企業が活路を見出し、さらに持続的成長を果たすための支援となるよう、以下に示す計画に基づき、事業活動を積極的に展開する。

# 【公益社団法人 大阪府工業協会 事業体系】



# 2019年度 事業計画

## 1

## 生産性向上・合理化推進事業

高品質な製品づくりはもちろんのこと、生産性のさらなる向上、変種変量・短納期といった市場ニーズへの柔軟な対応など製造企業における課題は山積している。

本事業では、現場力を高める管理・改善の実践手法、ならびにそれを担う人材の能力開発をテーマに、さまざまな切り口でセミナーや研修講座を展開。「人づくり」を通じて、製造業にとっての生命線ともいえる現場の基礎固めとさらなるレベルアップを後押ししていく。

### 1-1 生産管理実務研修

売れるものを売れる時期に売れるだけ作るというのが企業の命題。そのために必要な生産管理手法（生産計画、工程管理、在庫管理、原価管理など）について学ぶ。

- [テーマ例]
- ・生産管理ベーシックコース
  - ・生産管理の勘所
  - ・工程管理 実践研修コース
  - ・調達購買力強化研修 など

### 1-2 品質管理実務研修

品質は企業の信頼や競争力を左右する重要なテーマである。不良品の発生を抑え、また、発生しても外に出さない仕組みづくりが不可欠であり、そのために必要な技術・手法を学ぶ。

- [テーマ例]
- ・品質管理 実務研修
  - ・製造現場のポカミス対策
  - ・検査業務の徹底見直し
  - ・ISO9001 内部監査員養成講座 など

### 1-3 現場改善実務研修

過剰な在庫、作業の手待ち、装置のチョコ停など、現場に潜在するムダを徹底的に排除し、生産性を高めることで製造原価を下げる。実践に活かすさまざまな改善手法を学ぶ。

- [テーマ例]
- ・現場改善 実践研修コース
  - ・生産現場の不良対策セミナー
  - ・工場エリアのレイアウト改善
  - ・生産革新の進め方 など

### 1-4 工場管理実務研修

工場の管理・改善に必要な実務テーマを相互に関連づけ、実務者やリーダークラス、管理者までのスキルアップ研修。幅広い知識を複合的・体系的に学ぶことで、実務力の向上を図る。

- [テーマ例]
- ・よくわかる製造原価のつかみ方
  - ・製造係長 高野山宿坊合宿研修
  - ・工場チームマネジメントの実践
  - ・製造現場の部下育成の進め方 など

### 1-5 現場の基礎セミナー

「IE」「VE」といった、ものづくり現場の改善に役立つ技法を紹介するセミナー。基本を学び今後の取り組みを促す。製造・技術部門の方を対象とし、学びのきっかけを提供する。

---

## 1-6 働き方改革・現場革新コース

---

政府が掲げる「働き方改革」実現のために労働生産性の向上は不可欠である。そこで、製造現場を熟知したコンサルタントが工場へ出向き、現場の改善点を診断。その後、改善点を踏まえた講義を開催し、現場力の強化を図る。

---

## 1-7 工場運営Webセミナー

---

工場の運営に必須である生産管理や品質管理、現場改善といった生産に関わるもの、チームビルディングや部下の育成といった人材育成に関するものなど、幅広くテーマを取り上げ、短時間のセミナー形式でWeb発信する。

熾烈な国際競争のなか、他社との差別化を図るためには、技術や技能にさらに磨きをかけるとともに、イノベーションにより新たな価値を創造していくことが必要である。

本事業では、製品の設計から、切削などの加工技術、機械の保全や環境技術にいたるまで、対象を細分化し、幅広いテーマを設定。また、多くの中小企業で課題となっている技能伝承の一助となるよう、民間企業の研修施設を利用した技能研修や工学系の基礎を学ぶ長期講座を開催するなど、技術水準の高度化、技術人材の育成に注力していく。

## 2-1 工業技術セミナー

機械や電気など生産技術に関する知識、金属や樹脂材料に関する知識、切削や溶接をはじめとする金属加工の知識など、あらゆる工業製品の製造に関わる技術テーマを網羅的に取りあげる。

- |        |                    |                    |
|--------|--------------------|--------------------|
| 〔テーマ例〕 | ・電気の基礎             | ・プラスチック（成形・金型）セミナー |
|        | ・金属加工技術（板金、溶接など）   | ・ねじの基礎知識と締め付けノウハウ  |
|        | ・機械加工技術（切削、研削など）   | ・機械設備の日常保全         |
|        | ・金属材料の基本（鉄鋼、ステンレス） | ・NCプログラムの基本と読み方 など |

## 2-2 環境技術セミナー

企業の社会的責任として求められる環境負荷低減や温暖化防止への取り組み方を解説。あわせて知っておかなければならない環境関連の法規制についても取りあげる。

- |        |                     |             |
|--------|---------------------|-------------|
| 〔テーマ例〕 | ・工場エアの省エネ&トラブル対策    | ・化学物質の適正管理  |
|        | ・環境法規制 基礎知識と対応策     | ・廃棄物管理の実務   |
|        | ・ISO14001 内部監査員養成講座 | ・排水処理の実務 など |

## 2-3 設計実務研修

設計は品質やコストを決定づけるため、それを担う技術者のスキルアップは欠かせない。また、図面はものづくりの共通言語であるため設計・製図に関してさまざまな研修を開催する。

- |        |                  |                |
|--------|------------------|----------------|
| 〔テーマ例〕 | ・図面の基礎（読み方、寸法公差） | ・機械加工治具製作のポイント |
|        | ・検図チェックの進め方      | ・設計変更のチェックポイント |
|        | ・機械設計技術基礎講座      | ・設計標準化の進め方 など  |

## 2-4 技能開発訓練

知識修得だけでなく、実際の現場での技能を身につける研修を開催。研修施設を持つ企業と提携し、専門の指導員による技能訓練を行い現場作業者のレベルアップを図る。

- |        |                   |             |
|--------|-------------------|-------------|
| 〔テーマ例〕 | ・機械保全 実践力強化研修     | ・空気圧技術 実践研修 |
|        | ・油圧技術 基礎知識とメンテナンス | など          |

---

## 2-5 切削加工スクール

---

切削加工は機械部品の製作において必須の加工法である。しかし、最近では、工業高校や大学の機械系学部でさえ学ぶ機会が減っており、現場に配属されて初めて接するような状況にある。本講座では、切削加工技術者に必要な知識を体系的に把握・理解することを目的として夜間 17 回の講義、工具メーカーによる 5 回の特別講義、8 回の実習、2 回の工場見学を組み合わせた 7 か月間のプログラムを編成。実施にあたっては、大阪工業大学工学部の協力を得て、経験豊富な講師陣を迎えるとともに大学が保有する実習機を活用し、より実践の場で役立つ内容とする。

〔講義研修〕 金属材料、切削加工、図面といった技術の基礎知識に加え、  
工具や油剤メーカーの技術担当者による実務講義（夜間に実施）

〔実技研修〕 旋盤、立フライス盤、ボール盤、NC 加工、測定実習の 5 科目  
（大阪工業大学ものづくりセンター〈モノラボ〉で実施）

〔見学研修〕 工作機械メーカーとして DMG 森精機(株)を  
切削ツールメーカーとして大昭和精機(株)を訪問

---

## 2-6 省エネ情報セミナー

---

パリ協定を受けてわが国は、温室効果ガス排出量の削減目標を掲げ、エネルギー需給構造の見直し、電源構成のベストミックスの議論の中で、徹底した省エネの実践を強く表明している。そのためには、エネルギー多消費の工場のみならず、中小事業所・工場の立場から時代の変化に応じた省エネ技術へのハード面・ソフト面のアプローチが求められる。企業への情報提供の一環として、ボイラやコンプレッサといった工場設備の電力コストを削減するための方策や、エコアクション 21 などの環境対策を取りあげ、実践展開できる知識を身につける。

---

## 2-7 最新技術動向紹介セミナー

---

切削や鍛造、鋳造、レーザ加工や放電加工、3D プリンタを使った積層造形、めっきや熱処理、射出成形など、ものづくりにはさまざまな加工技術が使われている。その技術は年々進化し、ものづくりに革新的な変化をもたらすものもある。そうした加工技術の最新技術動向を紹介し、今後のものづくりに活かしていただくことを目的として開催する。

---

## 2-8 技術・技能 Web セミナー

---

切削加工や溶接、塗装といった現場で使われる技術や技能は、セミナーだけでは伝わりにくいテクニックやノウハウが多くある。そこで、実際の作業を行っている動画を Web 配信し、作業の効率化や技能の向上に役立てていただく。

企業の持続的発展のためには、限られた経営資源（ヒト・モノ・カネ）をいかに活用し、パフォーマンスを高めていくかが大きな課題である。日本の人口は減少の一途を辿り、国内需要の縮小は避けられず、労働力確保の難しさもこれから顕在化してくる。飽和状態にある市場では受注獲得に向けた競争もますます激しくなり、収益を確保していくには営業力強化とともに経営管理体制の充実も欠かせない。また、成長市場を求めて海外へ打って出ることも必要になってくる。

こうした経営上の課題に対処していく人材の育成、能力開発が本事業の目指すところである。テーマは幅広く、経理および経営管理、人事労務管理、営業戦術、グローバル化対応、さらには従業員個々のスキルアップまでもが含まれる。個別の職務や階層に合わせた研修講座、セミナーを開催することにより、生き残りをかけて経営革新に取り組もうとする企業を支援していく。

### 3-1 人事管理実務研修

労働関係法令の理解を促し、各種手続き業務をはじめ、従業員の採用や人事考課、賃金、処遇など、人事労務に関するテーマを全般的に取りあげる。

- |        |               |                    |
|--------|---------------|--------------------|
| 〔テーマ例〕 | ・人事労務管理基礎コース  | ・労務トラブル対策          |
|        | ・賃金制度 再設計の進め方 | ・新卒 中途採用面接の効果的な進め方 |
|        | ・年末調整の実務      | ・「年金」基本と実務 など      |

### 3-2 営業強化実務研修

基本的な営業マナーや商談・交渉スキルといったすべての営業社員に必要な能力と、管理職として組織をまとめるマネジメントスキルなど、階層ごとに求められる能力を習得する。

- |        |               |                   |
|--------|---------------|-------------------|
| 〔テーマ例〕 | ・営業実践力強化プログラム | ・バイヤーから選ばれる営業マン研修 |
|        | ・「与信管理」基礎研修   | ・展示会で成果をあげる営業のやり方 |
|        | ・営業トークの基本と実践  | ・価格交渉力強化研修 など     |

### 3-3 国際ビジネス実務研修

事業のグローバル化対応のためのセミナーを開催。経営者層には意思決定や戦略立案につながるテーマを、実務者向けには貿易書類の作成、法律知識などのテーマを取りあげる。

- |        |                    |              |
|--------|--------------------|--------------|
| 〔テーマ例〕 | ・輸出入通関手続きの基本       | ・海外事業展開の必須知識 |
|        | ・外国人雇用 実務上のポイント など |              |

### 3-4 階層別能力開発研修

経営目標の達成に向けた各自の責任・役割の自覚を促すため、各階層に求められる実務知識・基本行動を整理する。立場に応じた職責を全うするための要諦を演習やグループ討議を通じて指導する。

- |        |                     |              |
|--------|---------------------|--------------|
| 〔テーマ例〕 | ・取締役 実務力強化研修        | ・「機転力」向上セミナー |
|        | ・部長／課長／係長／主任研修      | ・スピードアップ仕事術  |
|        | ・技術部門リーダーのマネジメントスキル | ・OJTの進め方 など  |

---

### 3-5 経営管理実務研修

---

経営管理機能の強化を目指して、経営者・経営幹部・管理スタッフを対象に、具体的な実務課題を取り扱った研修を実施する。

- [テーマ例]
- ・初めて学ぶ経理の仕事
  - ・事務手続き基礎コース
  - ・損益分岐点分析活用セミナー
  - ・「税務調査」正しい知識と対応策 など

---

### 3-6 経営リスク対策セミナー

---

情報提供の一環として、人材に関する課題・悩みを解消するためのヒントを掴んでいただくテーマ、ならびに企業が抱えるさまざまな経営リスクに対する対策を学ぶテーマを取りあげる。各部門の実務担当者を対象とした具体的かつ詳細なセミナーを複数回にわたり開催する。

- [テーマ例]
- ・メンタルヘルスケアの考え方
  - ・BCP（事業継続計画）
  - ・労働災害の予防策
  - ・ネットセキュリティ など

---

### 3-7 経営力・創造力強化セミナー

---

経営あるいは事業展開に求められる先見性や創造性といったヒューマンスキルを身につけることを目的に、アイデア発想、論理的思考といったテーマを設定。将来の経営を担う中堅社員を主な対象とし、実践的なトレーニングに力点を置いたセミナーを開催する。

---

### 3-8 働き方改革・制度革新コース

---

働き方改革という大きな流れのなかで、従来の就業規則を見直す必要に迫られる企業も多い。そこで、社会保険労務士などの専門家を企業に派遣し、最新の労働関係法令を解説しながら、当該企業の就業規則の改訂方法を指導する出前セミナーを実施する。

---

### 3-9 接客スキル習得コース

---

事務部門や営業部門の方を対象として、接客について指導する出前セミナーを開催。顧客や来訪者との信頼関係を構築するための応対（コミュニケーション）について指導する。

---

### 3-10 経営者の集い・講演会

---

経営者が一堂に会し、明日の経営を考える場として講演会を開催。いまを代表する経営者、著名な知識人、ジャーナリストなど第一線の実務家を講師に招き、大所高所から時代の流れをとらえ、これからの経営のあり方を考える。

---

### 3-11 経営実務Webセミナー

---

経営管理の実務課題、マネジメントやマーケティングの手法、営業・販売の強化戦略、人材育成やリーダーシップといったテーマを取りあげ、動画配信形式で学びの場を提供する。

異業種・異分野の多彩な企業、かつ規模の大小を問わずさまざまな企業が集うのは、当協会ならではの特色である。その相互理解を促し、そこから新たなビジネスの芽を育むことも産業団体としての使命であると考えており、本事業は今後さらに充実させていく。

---

#### 4-1 経営革新研究会・講演会

---

経済的環境の変化が激しい昨今、それに即応した経営革新を行い、新たな事業活動の促進が必要となる。経営革新のヒントや知識・情報を提供する研修会を開催する。

---

#### 4-2 国際経営研究会・講演会

---

グローバル化がますます進展し、今後のグローバル展開は避けては通れない課題となっている。進出地域の多様化が進む昨今、各地域の市場・顧客特性を把握することが重要である。世界のビジネス環境の変化をとらえ、知識・情報をアップデートする機会を提供する。

新しい知識・情報を得るだけでなく、参加者相互の交流および連携の促進を図る研究活動を主体とした事業である。

企業活動にあたって必要となるさまざまな経営課題、製造業では欠かせない生産技術や加工技術、また話題の新しい技術など、ユニークなテーマを設けた研究会を多数開催。中長期にわたり1つのテーマに沿って定例会合を開き、講義一辺倒ではなく、参加者間の意見交換や情報交流を盛り込んで相互研鑽を図る。

異業種・異分野の多彩な企業、かつ規模の大小を問わずさまざまな企業が集うのは、当協会ならではの特色である。その相互理解を促し、そこから新たなビジネスの芽を育むことも産業団体としての使命であると考えており、本事業は今後さらに充実させていく。

## 5-1 大阪府工業技術大学講座

後援／大阪府

1年間にわたる技術者育成研修。次代の技術力を担う若手・中堅技術者を対象に、機械系の工学基礎理論から応用技術知識までの修得、さらに高度な先端技術への理解を深めることを目的として、講義、実習、見学を行う。昭和36年以来毎年継続して開講しており、これまでに2,500名を超える修了生を送り出してきた。就業と研修の両立のため、講義は夜間に実施。大学の機械系学部準じた基礎・専門科目をじっくり学ぶとともに、旋盤・溶接・CADなどの実技科目、実際のものづくり現場に触れる見学科目を組み合わせ、技術者としての総合力を養う。今年度は、より実学指向を目指して講義内容を見直すとともに、企業の実務者が講師を務める特別講義科目では、最近のトピックテーマに再編。また、見学研修の訪問先再選定を行うなどプログラムの充実を図り、第59期として実施する。(4月開講～翌年3月修了。計130日間)

〔講義研修〕材料力学、金属材料、機械要素、製図、加工技術など21科目  
(大阪府立大学大学院工学研究科の教授を中心に講師を招聘)  
特別講義として、知的財産、3Dプリンタ、生産革新など6科目

〔実技研修〕NC旋盤、油空圧、溶接、CADなど8コースを設定(選択制)  
(ポリテクセンター関西・兵庫の実習施設にて実施)

〔見学研修〕ダイキン工業(株)、(株)西島製作所、OKK(株)など10社を訪問

## 5-2 新入社員教育講座

新入社員に社会人としての自覚を促すとともに、働くうえで必要な基本行動・知識を修得させる。総合基礎教育のほか、職種別の導入教育やビジネスマナー研修を実施。さらに、機械金属・プラスチックメーカーに的を絞った専門知識を修得できる研修、規律や礼儀を身につけさせる禅寺合宿研修など、多様なニーズに合わせたカリキュラムを提供する。

## 5-3 経営力強化研究会

変化の激しい時代には、自身の目と耳での確かな情報を収集することが欠かせない。そこで、新たな市場領域の開拓、異分野でのビジネスチャンスの獲得、あるいは生産システムの再構築など、事業の新展開につながるヒントを得るため、以下に挙げるようなさまざまな研究会を開催。個々の企業ではなかなか得られない情報に触れる機会を提供する。

## 「進化する次世代の工場 最新技術研究会」

ものづくりは今、世界的に大きな変革の時を迎えている。先進企業では、それぞれのニーズに合う一品一様の製品を大量生産と同等レベルの効率やコストで作る生産方式へと進化しつつあり、オンデマンド生産、パーソナライズ化、スマートファクトリー化などといったキーワードで語られている。これらのものづくりを可能とするのは、最新ロボット技術や FA システム、デジタル機器などに代表される最新テクノロジーである。本研究会では、次世代の工場をテーマに、生産現場の IT 化・IoT 化、ロボット活用などの事例を紹介する。

## 「金属積層 3D プリンタ研究会」

当協会では、これまでにプラスチック材料を中心とした、3D プリンタの技術についての紹介、導入から活用事例に至るまで、研究会を開催し、さまざまな情報を提供してきた。今年度は次世代のものづくりとして注目を集める金属積層 3D プリンタを主題に、装置、材料、活用事例など、幅広い情報と意見交換の場として開催する。

## 「EV（電気自動車）研究会」

現在、自動車業界のトレンドは「電動化」。ガソリンやディーゼル車から EV（電気自動車）へのシフトが急速な勢いで全世界に広がりつつあり、この潮流は従来の産業構造を大きく変えるインパクトがある。こうした変化の現状と今後の展望を知り、これからの事業展開に役立つヒントを見出すことを狙いとする。

## 「AI（人工知能）研究会」

新たなサービスやビジネスの創出、製造現場の労働力確保、付加価値生産性の向上、熟練者の技能の継承といった、さまざまな課題に対し、AI（人工知能）実用化による解決に大きな期待が寄せられている。そこで、AI で何が変わり、何ができるのかを探り、工場はもとより企業全体での AI 活用に向けたヒントを提供する。

## 「知的財産研究会」

企業における法務や知的財産担当者、研究・開発部門スタッフ、および弁護士・弁理士などの専門家を対象に全 10 回の研究会を開催。運営にあたって大阪工業大学知的財産学部と連携し、これからの知財保護・活用戦略を掘り下げて考える。テーマは、企業の知財マネジメントの事例、知財に関連する制度改定の動き、あるいは最近のトピックスなどを幅広く取りあげる。

## 「物流効率化研究会」

インターネット販売の拡大や、人手不足による輸送コストの上昇など、物流部門の業務効率化が喫緊の課題となっている。本研究会では、庫内作業の見直しや予測技術を活用した庫内最適化、サプライチェーン密着による物流改善といったテーマを取り上げ、物流部門の業務効率化について研究する場を提供する。

---

## 5-4 現場力強化研究会

日本が世界に誇れる分野であるものづくりをさらに磨きあげるには、現場の知恵と工夫による改善にさらに注力しつつ、最新技術を追求する必要がある。常に求められる変化と革新に対応できるよう、ユニークかつ豊富な事例と実践知識を学ぶ場として研究会を開催する。

## 「工作機械加工技術研究会」

最近の工作機械は、超精密加工、高速化、省エネ性など時代の要請に合わせて進化を続けており、国際的な企業間競争を勝ち抜くために、より一層技術レベルの向上が図られている。そこで、工作機械の最新情報を得るため、機械メーカーの見学や先進事例を紹介する講演会を催す。

## 「簡易自動化研究会」

最先端の情報展開だけでなく、現場の地道な改善に着目。お金をかけずに現場の知恵を結集し、手軽にでき、そして大きな効果を生む簡易自動化を取りあげる。ものの重力やてこの原理、ぜんまいや滑車などのからくり機構と、モータやセンサなどの動力や簡単な制御機器を活用し、絶大な効果をあげた具体的な事例に触れ、工場の体質強化に役立てる。

## 「生産技術研究会」

かつてのものづくり大国と呼ばれた日本であるが、現在は中国をはじめとする新興国の台頭や、装置産業の発展により、単純なものづくりでは海外生産に太刀打ちできない。そこで、本研究会では、強いものづくり体質をつくる要となる生産技術者を対象として研究会を開催。生産技術者が知っておくべき技術知識、管理知識のほか、自動化やIoT化、柔軟で高効率な生産ラインの構築などをテーマに、強い現場をつくるヒントを提供する。

## 「生産支援ロボット研究会」

危険作業や重労働の作業改善ツールとして、労働人口減少に対応するため、生産現場での生産支援ロボットの活用が年々増加している。AI搭載の協働ロボットやウエアラブルロボット、品質のばらつきをなくす検査ロボットなど、実際に活用している企業の事例を中心に、そのメリットや導入にあたって留意すべき点などを学ぶ。

## 「工場経営研究会」

ものづくり企業の経営幹部・工場責任者が一同に会し、ディスカッションや情報交換により相互研鑽を図る。企業規模や事業内容が違っていても、製造業の経営の一翼を担う者として共通する課題を取りあげ、全18回の研究会を開催。各回のテーマは、生産管理や改善手法など工場に不可欠な実務知識から、財務・法務問題、人事労務、人材育成までを幅広く網羅している。将来にわたって事業を継続させていくための先導者として、経営感覚を身につけるとともに、経営の視点から工場全体を統括・マネジメントできる力を高めていく。

## 「技能伝承研究会」

少子高齢化が進み、若年労働者が減少するなかで高い生産性を維持していくためには、熟練作業者がもつ自社特有の技能やノウハウをうまく伝承していかなければならない。昨今の製造現場が抱える技能伝承問題について、解決のヒントを提供する研究会。

---

## 5-5 新技術研究会

---

需要の変動に対応し、変種変量生産を機敏にこなす工場。オンリーワン技術で強みを発揮する工場。海外生産拠点のマザー機能を発揮する工場。などなど国内生産で強い競争力を持つ工場はまだまだ数多く存在し、日本のものづくりの底力を体現している。こうしたメーカーの現場見学と技術講演を行い、独自のコンセプトを見る・聴く・学ぶことによって最新の技術動向を掴み、今後の経営や工場運営に役立つ情報を吸収する。

---

## 5-6 施設と工場見学研修

---

異分野の現場に学ぶ見学研修を積極的に実施し、経営者あるいは技術者の情報収集ニーズに応えていく。三現主義という言葉があるように、机上の論理ではなく、「現場」で「現物」を観察し「現実」を認識したうえで問題解決を図ることが重要である。とくに、ものづくりにおいては現場から学ぶことが多く、生産性の向上、製品の改良、新製品開発のヒントも現場でこそ見出すことができる。工場以外に、研究機関や物流施設などへも訪問する。

---

## 5-7 海外産業視察研修

---

日本企業の海外事業所や現地メーカーを訪問し、実際の姿を見聞、学ぶ機会を提供する。大手メーカーの国内回帰が進む状況においても、市場のグローバル化は無視することはできない。国外の経済情勢は刻々と変化しており、「百聞は一見に如かず」の言葉どおり、現地を訪れることには大きな意義がある。海外のものづくり現場の実地見学および現地法人責任者とのディスカッションを通して、マスメディアでは得られない活きた情報を掴む。

---

## 5-8 経営者・経営幹部交流会

---

経営者が経済の状況を見極め自社の明日を考察する機会として、特色ある事業展開や商品戦略で注目を集める企業の経営者を招聘しての講演を行う。また、経営者以外にも対象を広げ、各部門の幹部層の相互交流の場として、「工場長大会」「人材活性化フォーラム」「営業マン大会」を開催する。また、若手経営者の交流・研鑽の場である「朝活」を定期開催する。

---

## 5-9 機関誌商工振興刊行

---

大阪府商工労働部監修

会員事業所へのインタビュー記事や、専門家による解説記事、行政からの広報などを収録し、毎月1回発行。会員企業情報を発信する紙面をつくることを目指し、「会員企業訪問」や「私が大切にしている言葉」「私のお薦めの一冊」「わが社のイチバン！イチ押し製品」といった記事を掲載。また、「これからの“ひとづくり”と“ものづくり”」「品質とともに前進を続ける」「物流改善ネタ発見」といった協会ならではの企画記事も掲載する。

---

## 5-10 優良従業員表彰

---

会員事業所における労使関係の安定と従業員の勤労意識増進を図るため、昭和37年より毎年実施している「優良従業員表彰」。永年勤続かつ他の模範となる従業員として事業主から推薦を受けた者を選考し、会長名による表彰を行う。

---

## 5-11 経営指導と情報提供

---

会員事業所からの経営上、技術上の相談に応え、情報提供や専門家の紹介を行うほか、社内研修の要望に対しては、ニーズに合ったカリキュラムの編成から講師派遣までをサポート。従業員の自己啓発・自主活動に対しては、通信教育講座および研修用DVD教材の貸し出し等により対応する。さらに、会員事業所を対象とした参加無料の講演会を開催し、時宜に応じたトピック的なテーマを取りあげ、経営に役立つ情報を発信していく。

---

## 5-12 展示商談会

---

会員事業所と大手メーカーとをつなぐマッチング事業として、会員事業所が持つ技術・製品を直接アピールする「展示商談会」を毎年開催している。自動車や電機メーカーの調達・技術担当者や関連サプライヤーへの販路開拓を支援する。

---

## 5-13 経営者の集い・懇親会

---

経営者が一堂に会するセミナー等の機会をとらえて、相互交流・懇親の場を提供することにより、ビジネスマッチングが活発に行われることを促す。

---

## 5-14 会員交流と懇談会

---

新春年賀交歓会やゴルフコンペ（春秋の2回）などを開催。肩ひじ張らない自由な雰囲気の中で会員同士の相互理解。親睦を深める。

---

## 5-15 創立70周年記念式典等

---

当協会は2019年12月をもって創立70周年を迎える。記念すべき節目を会員ともどもに祝い、あらためて協会設立の趣旨を思い起こす機会として記念式典等の祝賀行事を開催。

記念式典等：11月26日（火）ホテルニューオータニ大阪「鳳凰の間」